

令和3年度使用

中学校用教科用図書研究資料

美 術

宮崎県教育委員会

1 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点1〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、図画工作科と美術科の関連を説明した「学びの地図」から学習をスタートし、「生命感あふれる表現」の鑑賞をはじめ、社会との関わり方やこれからの生き方や未来を考えさせることができるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、題材ページは、見開き2ページの題材を中心に、大型図版を4ページや6ページの大きな見開きで見られる題材を設けるなど、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、3年間の美術科で何をどのように学ぶか見通せる学習からスタートし、「環境とともに生きる彫刻」の鑑賞をはじめ、美術科の学びを人生や社会に生かそうと考えさせることができるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、題材ページは、目標を確認する、鑑賞して表現につなげる、構想を練って制作する、鑑賞をして学びを深めるといった学習の流れが分かる紙面を構成するなど、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 美術科の目標を達成するために、中学3年間の美術科の学びを見通すことのできる「成長地図」の学習からスタートし、「人が生きる社会と未来」の表現・鑑賞をはじめ、自分と向き合いながら、将来の生き方を意識できるような題材を配列するなどの工夫が見られる。</p> <p>また、題材ページは、「サブタイトル」を示したり、表現と鑑賞が相互に関連していることを表すマークをインデックスに配置したりして、活動の見通しをもたせるなど、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める工夫が見られる。</p>

2 内容や指導の充実

〔観点2〕 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各領域の扉のページに、学ぶ内容や学習の魅力を示し、生徒に学習の意義と方法を理解させるような工夫が見られる。 また、「暮らしに生きる美術」を設け、美術の学習を通して培った力を生かし、これからの生き方を考えることができるような工夫も見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、必要なページに「美術の用語」欄を設け、造形的な特徴に着目することができるような工夫が見られる。 また、各巻末に「学びの資料」を設け、制作の手順やポイント、用具の使い方を示すなど、制作に取り組みやすくするような工夫も見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、各題材に「学習のポイント」を示し、生徒がイメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。 また、部分拡大等で作品を掲載し、作品に豊かに関わることができるような工夫も見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、題材ごとに表現や鑑賞の際のポイントが問いの形で示され、生徒に学習の方法を理解させるような工夫が見られる。 また、「うつくしい」、「美術の力」を設け、美術の学習を通して培った力で、これからの生き方を考えることができるような工夫も見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、各題材の説明に制作や鑑賞の視点を示し、造形的な特徴に着目することができるように工夫している。 また、各巻末に「学習を支える資料」を設け、材料や用具の使い方、色彩の特徴を示すなど、制作に取り組みやすくするような工夫も見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、表現中心の題材に、生徒が実際に試行錯誤しながら制作する過程を示し、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。 また、全ての題材において鑑賞活動を設定し、作品に豊かに関わることができるような工夫も見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 主体的・対話的で深い学びを展開するために、各分野のはじめに、導入ページを設定し、生徒に内容把握や学習の方法の理解を促すような工夫が見られる。 また、美術での学びを生かしている人々の言葉を掲載し、多様な考え方に触れ、これからの生き方を考えることができるような工夫も見られる。</p> <p>(2) 生きて働く「知識・技能」を習得させるために、題材の冒頭に活動や目的を示し、造形的な特徴に着目することができるように工夫している。 また、各巻末に「学習を支える資料」を設け、材料や用具の取り扱いについて示すなど、制作に取り組みやすくするような工夫も見られる。</p> <p>(3) 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成するために、美術1の巻末資料に「発想や構想の手立て」を示し、全題材において、イメージを豊かにしながら学習に取り組むことができるように工夫している。 また、題材ページに鑑賞活動を促すような情景写真を示し、作品に豊かに関わることができるような工夫も見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに生徒にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、題材に沿った「学習のポイント」で話し合う場を設け、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。</p> <p>また、誰にとっても読みやすい文字表記にするなど、紙面のユニバーサルデザインを意識したり、各題材にQRコードを掲載し、教科書に掲載した作品以外の参考作品例などを見たりすることができるようにするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
38 光 村	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、題材の鑑賞作品に対して鑑賞の視点を設定し、対話を通して学習を進めるなど、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。</p> <p>また、誰にとっても読みやすいようなフォントを使用し、紙面のユニバーサルデザインを意識したり、題材の随所にQRコードを掲載し、各単元で使用する用具の使い方や制作の流れが確認できるようにしたりするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 学習効果や使用上の利便性を高めるために、各題材に「造形的な視点」として対話が生まれるような問いを設け、生徒が学習に取り組みやすくする工夫が見られる。</p> <p>また、誰にとっても読みやすいように、紙面のカラーユニバーサルデザインを意識したり、題材の随所にQRコードを掲載し、見たい角度や距離感から立体作品を鑑賞することができるようにしたりするなど、学習効果を高めるような工夫が見られる。</p>